

レントゲン設置関係

1 診療施設の名称 所在地		TEL FAX								
2 エックス線装置の製作社名、型式及び台数、						3 エックス線高電圧発生装置の定格出力				
台 数		台								
製 作 者 名										
型 式										
製造年月日		年 月 日			年 月 日			年 月 日		
装置の種類		固定式(移動不可)、固定式(移動可)、ポータブル			固定式(移動不可)、固定式(移動可)、ポータブル			固定式(移動不可)、固定式(移動可)、ポータブル		
高電圧発生装置の 定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
	長時間 短時間 蓄電式	KVp KV F	mA μ	秒 -	KVp KV F	mA μ	秒 -	KVp KV F	mA μ	秒 -
用 途		撮影・透視・治療			撮影・透視・治療			撮影・透視・治療		
設置時の状態		新 品 ・ 中 古 品			新 品 ・ 中 古 品			新 品 ・ 中 古 品		
設置年月日		年 月 日			年 月 日			年 月 日		

4-1 エックス線装置の放射線障害防止に関する構造設備の概要

エックス線装置の共通事項			
照 射 筒	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
絞 り	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
線管容器、照射筒及び絞りの漏れ放射線量	μ C / k g ・ 時間	μ C / k g ・ 時間	μ C / k g ・ 時間
総ろ過量	mmアルミニウム当量	mmアルミニウム当量	mmアルミニウム当量
透視用エックス線装置			
エックス線管回路自動開放装置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板有効面積外照射防止装置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板通過後の放射線量	n C / k g ・ 時間	n C / k g ・ 時間	n C / k g ・ 時間
蛍光板周囲と被照射体周囲の散乱線防護	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
治療用エックス線装置			
ろ過板保持装置	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

4-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1週間の延べ撮影枚数	枚			
1週間の延べ透視時間	時間			
診療施設の構造等	独立家屋（階建て）、マンション・アパート等の集合家屋（階）その他（ ） 耐火構造（ ）木造・木造モルタル、プレハブ、その他（ ）			
エックス線診療室の概要	エックス線診療専用の室、診察室と兼用の室、手術室と兼用の室、その他（ ）			
診療室の遮へい物等の概要	区分	材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置
	天井			
	周等	東 側		
	の壁	西 側		
	遮を	南 側		
へ含	北 側			
いむ				
物				
の概	出入口の扉			
要				
診療室の壁等の外側における最大放射線量	（ マイクロシーベルト / 1週間 マイクロシーベルト / 1時間 ）			
標 識 の 有 無	有 ・ 無			
注意事項の掲示	有 ・ 無			

4-3 診療施設における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	マイクロシーベルト / 1週間
	立入制限措置	遮へい物（材質等： ）による区画、白線による区画、その他（ ）
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地の境界	人が住居する区域における最大放射線量	マイクロシーベルト / 3月間
	敷地の境界における最大放射線量	マイクロシーベルト / 3月間
その他	診療施設の見取図	（別添1）
	エックス線装置を使用する室の遮へい物等の配置状況	（別添2）

4-4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ ） 防護エプロン（ ） その他（名称： 、数量： ）
エックス線診療従事者等の放射線測定用具等の保有状況	フィルムバッチ（ ） 熱ルミセンス線量計（ ） ポケット線量計（ ） その他（名称： 、数量： ）
エックス線診療室等の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 （測定器名： 、数量： ）
その他の措置（健康診断等）	

5 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏 名	年齢	エックス線診療に関する経歴